

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,553	51.4	1,327	110.7	1,407	84.9	930	70.6
2022年3月期第2四半期	10,270	1.8	629	14.0	760	23.7	545	△19.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,227百万円(87.4%) 2022年3月期第2四半期 654百万円(△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	51.48	—
2022年3月期第2四半期	30.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,577	34,694	73.9
2022年3月期	47,340	33,919	71.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 34,421百万円 2022年3月期 33,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	3.1	2,600	△9.9	2,600	△14.2	1,800	△22.0	99.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	18,098,923株	2022年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	31,934株	2022年3月期	31,887株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	18,067,022株	2022年3月期2Q	18,067,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年11月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の世界経済情勢は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の普及や行動制限の緩和等が各国で進んだこと等を背景に、経済活動の正常化が進む動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の上昇やグローバルサプライチェーンの混乱、生産制約や資源・部材の供給不足、世界的な物価上昇を背景とした各国の金融引き締め政策への転換などによる世界的な景気への影響等に注視する必要があり、物価高と景気減速が同時に進行するスタグフレーションの懸念も高まる中、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、コロナ禍からの経済活動の復活がグローバルに進み、一部の製造業において生産設備の自動化・高度化・高品質化ニーズにより設備投資が積極的に行われました。当社においては地産地消の考えのもと、リモート技術を活用した商談・仕様打合せ・完成確認・設置サポート体制を推進、海外拠点への受注・生産・サービス提供業務の移管等により生産効率を高め、顧客のニーズ・ウォンツを的確に捉えた「生産技術の代行」と、顧客・サプライヤーとの協業・協創を推進した結果、上半期の当社個別ベースでの受注高は前年同期に対し18.9%増加し、128億74百万円となりました。また個別売上高は前年同期に対し57.9%増の117億99百万円となった結果、個別受注残高は前年同期に対し9.7%減の182億65百万円となりました。

以上の結果、当社グループにおける連結売上高は155億53百万円(前年同期比51.4%増)、営業利益は13億27百万円(前年同期比110.7%増)、経常利益は14億7百万円(前年同期比84.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億30百万円(前年同期比70.6%増)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社は、それぞれに高度なワインディング、テンション、ハンドリング等の要素技術をコアにした生産システムに多軸同期制御を可能にした当社独自開発のOSを搭載し、最新鋭の搬送技術を備えたトータル精密FAライン構築のベースとなる複数のプラットフォームを展開、「生産技術の代行」をキーワードに、オープンイノベーションによる顧客・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブルーレイク戦略」によって次々に創出される顧客ニーズにもスピーディーに対応し、既存領域の深化と周辺事業領域の探索を進めました。また、コロナ禍における種々の制約に対処するため、地産地消のコンセプトのもと、海外拠点を中心にリモート化を進めることにより、営業・生産・サービスの効率化や製造コストの削減などによる生産性及び競争力の向上を図りました。

これらの結果、全売上高の約92%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は142億89百万円(前年同期比49.3%増)、セグメント利益(営業利益)は14億90百万円(前年同期比86.6%増)となりました。

また、当社個別ベースでの受注高は118億84百万円(前年同期比18.6%増)、売上高(生産高)は105億35百万円(前年同期比55.5%増)、当第2四半期末の受注残高は172億90百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

引き合いの中心は非接触ICカードや生産管理用FAタグであり、非接触ICカードの売上高は前年同期比59.0%増、生産管理用FAタグの売上高はFAラインにおける工程管理のニーズの高まりを受け前年同期比145.9倍となりました。

これらの結果、連結売上高は12億64百万円(前年同期比81.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2億82百万円(前年同期比25.4%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は9億90百万円(前年同期比22.7%増)、売上高(生産高)は12億64百万円(前年同期比81.4%増)、当第2四半期末の受注残高は9億74百万円(前年同期比157.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比5億9百万円減少し、317億67百万円となりました。これは主として、現金及び預金が12億40百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が5億47百万円、仕掛品が13億31百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比2億53百万円減少し、148億9百万円となりました。これは主として、投資有価証券が2億25百万円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比7億62百万円減少し、465億77百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比16億52百万円減少し、110億99百万円となりました。これは主として、前受金が15億36百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比1億14百万円増加し、7億82百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が96百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比15億38百万円減少し、118億82百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比7億75百万円増加し、346億94百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末対比9億2百万円増加し、126億70百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16億53百万円(前年同期は21億62百万円の収入)となりました。これは主として、前受金の減少が16億3百万円、法人税等の支払額が5億1百万円あった一方、棚卸資産の減少が12億16百万円、売上債権の減少が3億87百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億67百万円(前年同期は50百万円の支出)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が11億46百万円あった一方、定期預金の預入による支出が14億3百万円、保険積立金の積立による支出が2億53百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億91百万円(前年同期は2億72百万円の支出)となりました。これは配当金の支払額が4億51百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日(2022年11月11日)公表をいたしました「2023年3月期第2四半期連結・個別業績予想と実績値との差異及び通期連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,729	14,969
受取手形及び売掛金	5,661	5,113
電子記録債権	1,236	1,544
仕掛品	9,167	7,835
原材料及び貯蔵品	1,483	1,552
その他	1,005	758
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	32,276	31,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,799	4,696
機械装置及び運搬具（純額）	976	905
土地	2,812	2,812
その他（純額）	685	800
有形固定資産合計	9,272	9,214
無形固定資産		
その他	120	111
無形固定資産合計	120	111
投資その他の資産		
投資有価証券	3,560	3,335
退職給付に係る資産	465	476
繰延税金資産	29	55
その他	1,614	1,616
投資その他の資産合計	5,669	5,483
固定資産合計	15,063	14,809
資産合計	47,340	46,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579	2,134
電子記録債務	2,839	2,300
未払法人税等	555	250
前受金	5,949	4,412
賞与引当金	519	684
その他	1,310	1,316
流動負債合計	12,752	11,099
固定負債		
繰延税金負債	286	382
退職給付に係る負債	12	16
その他	369	383
固定負債合計	668	782
負債合計	13,420	11,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,535	2,535
利益剰余金	21,054	21,532
自己株式	△27	△27
株主資本合計	30,447	30,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,298	1,020
為替換算調整勘定	1,556	2,167
退職給付に係る調整累計額	351	307
その他の包括利益累計額合計	3,206	3,495
非支配株主持分	265	273
純資産合計	33,919	34,694
負債純資産合計	47,340	46,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,270	15,553
売上原価	7,525	11,874
売上総利益	2,745	3,678
販売費及び一般管理費	2,115	2,351
営業利益	629	1,327
営業外収益		
受取配当金	19	34
固定資産売却益	49	—
補助金収入	23	57
その他	75	48
営業外収益合計	168	140
営業外費用		
為替差損	14	39
その他	22	20
営業外費用合計	36	60
経常利益	760	1,407
特別損失		
投資有価証券評価損	—	52
特別損失合計	—	52
税金等調整前四半期純利益	760	1,355
法人税、住民税及び事業税	121	209
法人税等調整額	103	218
法人税等合計	225	428
四半期純利益	535	926
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	545	930

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	535	926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△278
為替換算調整勘定	114	622
退職給付に係る調整額	△39	△44
その他の包括利益合計	118	300
四半期包括利益	654	1,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668	1,219
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	760	1,355
減価償却費	347	512
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	164	156
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	17
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△72	△86
受取利息及び受取配当金	△40	△55
為替差損益(△は益)	10	△11
有形固定資産売却損益(△は益)	△49	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,454	387
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,430	1,216
仕入債務の増減額(△は減少)	△435	△72
補助金収入	—	△57
前受金の増減額(△は減少)	1,349	△1,603
その他	245	291
小計	2,312	2,049
利息及び配当金の受取額	40	55
利息の支払額	△3	△6
法人税等の支払額	△210	△501
補助金の受取額	23	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,162	1,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△965	△1,403
定期預金の払戻による収入	1,096	1,146
有形固定資産の取得による支出	△184	△115
有形固定資産の売却による収入	63	1
無形固定資産の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の取得による支出	△109	△205
投資有価証券の売却及び償還による収入	174	0
保険積立金の積立による支出	△233	△253
保険積立金の払戻による収入	113	266
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△271	△451
その他	△1	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272	△591
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,894	902
現金及び現金同等物の期首残高	10,110	11,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,004	12,670

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,573	697	10,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	9,573	697	10,270
セグメント利益	798	225	1,023

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,023
全社費用(注)	△394
四半期連結損益計算書の営業利益	629

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	14,289	1,264	15,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,289	1,264	15,553
セグメント利益	1,490	282	1,772

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,772
全社費用(注)	△445
四半期連結損益計算書の営業利益	1,327

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。